

市民の願い実現に全力投球

市民と力合わせ 不屈にたたかう日本共産党議員



日本共産党武雄市委員会は、江原一雄現議員を次期市議会議員選挙の予定候補者に決定しました。

3つの約束

1. くらしやすい武雄市をつくる市民の声を届けます
2. 不公正を許さず 品位ある開かれた議会をつくります
3. 憲法を生かし くらし平和の願いをつらぬきます

6年前、江原議員は米海兵隊を「なぐり込み部隊」と発言して出席停止処分に。事件は正副議長の辞任に発展。これにひるまず4年前、平和事業を求めた江原議員に「オスプレイ導入賛成」と市長が強弁。子の政治姿勢が知れ渡り、県民に不安を持たせました。

非核平和宣言の市として平和事業を求める



オスプレイ撤去の建白書／海を渡る「オール沖縄」不屈のたたかい／オーラー仲間たちみんな巣穴から出てこい／いつせいジャンプでオレたちも闘うんだ

（中略）

命の干渉 自然の宝庫をみんなで守るんだ！

▼昨年九月、武雄市議会はオスプレイ配備反対の意見書を求める請願を不採択に。▼憤懣やるかたな投稿。今年二月、神埼にへり墜落！手をこまねい。ていられる場合じやない。

江原一雄現議員を

武雄市議選

党公認候補に決定

江原一雄議員は、武雄市の高すぎる固定資産税は異常だと税率の切り下げを貫して求め続けています。

武雄市は、固定資産税を

1.55%と県内最高の税率で徴

収していました。これを多

くの市のように標準税率

1.4%に引き下げよといふのが江原議員の主張です。樋

渡前市長はこれを無視でき

ず、引き下げるがねばなりませ

ん。市民と力を合わせて、

がんばります。

くるうえで固定資産税の引

き下げを急がねばなりません。

これまで7月支給でした

が、これは実情に沿わない

として入学前支給を提案。

固定資産税引き下げ実現

さらに標準税率の1.4%へ

就学援助金の支給を入学前に実現

就学困難な小中学生のための入学準備金の支給は、これまで7月支給でした

が、これは実情に沿わない

として入学前支給を提案。

翌年度から実現しました。日本共産党的国会議員と連携した取り組みの成果です。

小松市長 前言ひるがえし市民に負担増

改修前の図書館は、開館後12年で、年平均入館者30万人、貸出冊数35万冊、市民の文化の中心シンボルと

して親しまれています。

ところが前市長は、民間企業CCC社に指定管理料

が安くなると委託を強行し

ました。小松市長は、就任

当初「子ども図書館は作ら

ない」と言っていたのに、

議会の多数で建設を強行し

ました。合わせて10億円の

市税投入です。指定管理料

が増えて毎年2億円を超え

る図書館運営費がかかるこ

とになりました。

図書館改修に10億円投入

小松市長 前言ひるがえし市民に負担増

ない」と言っていたのに、議会の多数で建設を強行しました。合わせて10億円の市税投入です。指定管理料が増えて毎年2億円を超える図書館運営費がかかることになりました。



2008年6月8日武雄市文化会館にて
「武雄市民病院を存続させる会結成集会」



司会する江原一雄議員



地域医療を守れ
武雄市民病院の存続求め
市民とともに奮闘

はばたき

オレか オレ様は干潟の主でなあ／ムツゴロウつてんだ／先祖代々大昔からこの干潟に暮しているんだ／世界中どこ行つたって／こんな住みよい住処はないなにい オスプレイが来るんだと？／よく落ちるあのトンボみたいな奴だろう／欠陥機のあだ名があるつていうじやないか／あんな奴に来させてたまるかい 墜落の恐怖と爆音のまき散らし／墜落でもしてみ有明海は死の海だ／あたりは油だらけ放射能もだつて？／べらぼうめ こちとらは命がかつとるんだ

（中略）

オスプレイ撤去の建白書／海を渡る「オール沖縄」不屈のたたかい／オーラー仲間たちみんな巣穴から出てこい／いつせいジャンプでオレたちも闘うんだ

命の干潟 自然の宝庫をみんなで守るんだ！

▼昨年九月、武雄市議会はオスプレイ配備反対の意見書を求める請願を不採択に。▼憤懣やるかたな投稿。今年二月、神埼にへり墜落！手をこまねい。ていられる場合じやない。

前市長の不法行為 「制裁金」つけ回しを阻止！



国政でも市政でも 私物化許さず

「森友問題」は 武雄市にも

国有地をタダ同然で売り渡した「森友問題」は国政が舞台。元市長の不始末で「損害賠償金のつけ回し」は武雄市が舞台。どちらも「友人関係」を特別扱いする点で共通です。規模は違いますが、本質的には政治の私物化ではないでしょうか。

名誉棄損を認定

事の起こりは樋渡前武雄市長が行つた市議会（平成26年6月）における発言です。山口昌宏議員が同僚のT議員を名指しこそしないものの、それと分かる表現で「借金踏み倒し議員」と誹謗中傷する質問にたいして答弁したものです。樋渡前市長は、山口昌宏議員らの発言に相乗りするかのように同調する答弁を繰り返しました。樋渡前市長の不始末は市民に尻ぬぐいさせるということです。

法は、「議会において他人の私生活にわたる発言をしてはならない」と定めています。T議員は樋渡前市長を名誉棄損として裁判に訴えました。裁判は「名誉棄損」を認め、樋渡前市長と武雄市に対し、損害賠償金として約62万円の支払いを命じました。（平成28年4月）

市民につけ回し

判決を受けて、武雄市は国家賠償法に基づいて樋渡前市長が支払うべき36万2483円を肩代わりしました。この樋渡前市長の負担分は当然、市の会計に戻されなければなりません。しかし、

それは行われませんでした。江原議員は次の議会で、前市長の負担分は本人に請求すべきだと求めました。ところが驚いたことに小松市長は「請求しない」と答弁したのです。つまりは、樋渡前市長に税金で肩代

と、自ら紹介議員となり市民の有志の協力を得て前市長に請求すべきとの請願書（代表・大河内智）を議会に提出しました。ところが、またまた驚いたことには、この請願を反対多数で葬つてしまつたのです。そこで、このことを不当だとする市民12人が武雄市監査委員会に住民監査請求を行つたところ、またまた請求を棄却してしまつたのです。

長はこれに応じました。樋渡前市長は不法行為をおこなつた前市長にたいして、市民の税金による肩代わり分を請求すべきだが、不可解にも「請求しない」という態度をとつていました。

樋渡前市長は、今も武雄市特別顧問地方創生アドバイザーの要職にあります。

樋渡前市長は、今も武雄市特別顧問地方創生アドバイザーの要職にあります。

樋渡前市長は、今も武雄市特別顧問地方創生アドバイザーの要職にあります。

市議会も監査委員会も耳貸さず

こんな理不尽なことは通用するわけがありません。江原議員は議会に諮つて決着をつけよう

と、本人負担の「制裁金」まで市民に転嫁するもので、絶対に容認できなかつた。市政において

武雄市のこの態度は不法行為を見過ごすだけでは、必ず道が開けることを示したるもので、今後の活動に生かしたい。

江原一雄 議員が談話

損害賠償金支払いでの武雄市は不法行為をおこなつた前市長にたいして、市民の税金による肩代わり分を請求すべきだ



原告団が判決に従うよう申し入れる。（右端は江原議員）

平成26年6月	樋渡前市長は武雄市議会で「借金踏み倒し議員」と発言
平成26年9月	樋渡前市長に対して「名誉棄損」の損害賠償を求めるため提訴。
平成28年4月	樋渡前市長に対して損害賠償命令の判決が出る。
平成28年6月	江原議員は、市議会にて樋渡前市長に対して「制裁金」を小松市長に求めた。小松市長は応じなかつた。
平成28年12月	武雄市監査委員会に「国家賠償法に基づく損害賠償の支払い」を求めるため監査請求を行う。
平成29年2月	監査委員会は棄却する。
平成29年3月	市民12人が佐賀地裁に「求償権の行使を求め」て住民訴訟。
平成29年12月	武雄市に対して、求償権行使し、樋渡前市長に請求を命じる判決。
平成29年12月	原告団が、判決に従うよう武雄市に申入れる。
平成30年1月	小松市長は樋渡前市長に制裁金を求めた。樋渡前市長は36万2483円を支払つた。